



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年8月5日

上場会社名 フマキラー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4998 URL http://www.fumakilla.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大下 一明
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 佐々木 高範 TEL 0829-55-2112
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	14,052	8.4	1,995	19.0	1,987	17.1	1,276	23.6
28年3月期第1四半期	12,960	14.7	1,676	20.7	1,696	17.9	1,032	16.2

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 1,066百万円 (△4.0%) 28年3月期第1四半期 1,111百万円 (1.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	45.92	-
28年3月期第1四半期	37.13	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	31,320	10,962	29.1	328.03
28年3月期	31,626	10,245	26.6	302.27

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 9,120百万円 28年3月期 8,404百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	-	-	-	10.00	10.00
29年3月期	-	-	-	-	-
29年3月期(予想)	-	-	-	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	21,200	1.3	1,500	△10.3	1,550	△8.4	890	△10.8	32.01
通期	37,800	4.2	1,840	△1.4	2,020	2.4	1,090	△3.6	39.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料の3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期1Q	32,980,000株	28年3月期	32,980,000株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	5,175,418株	28年3月期	5,174,709株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期1Q	27,804,836株	28年3月期1Q	27,808,602株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は完了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当資料における業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定の要素を含んでいます。実際の業績等は業況の変化等により、上記予想数値とは異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	10
(1) 販売実績	10
(2) 海外売上高	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

指標等	28年3月期 第1四半期累計	29年3月期 第1四半期累計	増減額	増減率 (%)
売上高	12,960	14,052	1,092	8.4
営業利益	1,676	1,995	318	19.0
経常利益	1,696	1,987	290	17.1
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,032	1,276	244	23.6
1株当たり四半期純利益	37円13銭	45円92銭		

当第1四半期連結累計期間(平成28年4月1日から平成28年6月30日まで)におけるわが国の経済は、政府の経済政策や日本銀行の金融緩和政策の継続により緩やかな回復基調ではあるものの、中国・欧州など世界経済の減速懸念に加え、英国のEU離脱や金融市場に不安定な動きが見られる等、先行き不透明な状況となっております。

このような状況の中で、当社グループは「ひとの命を守る。ひとの暮らしを守る。ひとを育む環境を守る。わたしたちは、世界中の人々がいつまでも安心して快適に暮らすことのできる社会づくりに貢献していきます。」という経営理念のもとで、コア事業の殺虫剤、家庭用品、園芸用品の成長カテゴリーに新価値創造型新製品を積極的に投入し、既存事業の強化・育成を図るとともに、コストダウンや経費の効率的な運用等による利益構造の改革及び海外事業の強化拡大等の課題に努めてまいりました。

国内売上につきましては、主力の殺虫剤の売上が好調に推移し、国内合計では前年同期比6.5%増の95億37百万円となりました。一方、海外売上については、海外子会社の売上が順調に推移したことにより、円貨ベースでは前年同期比12.6%増の45億15百万円(為替変動の影響を除くと25.5%増)となりました。その結果、売上高は前年同期比8.4%増の140億52百万円(為替変動の影響を除くと12.4%増)となりました。

売上原価は、前年同期より6億88百万円増加し、89億77百万円となりました。その結果、売上原価率は63.9%で、商品の売上構成の変動やコストダウン、為替変動(円高)による仕入価格の減少等により前年同期より0.1ポイント減となりました。

これらの結果、売上総利益は50億75百万円(前年同期比8.7%増)となり、返品調整引当金繰入後の差引売上総利益は47億63百万円(前年同期比8.1%増)となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、経費の効率的運用に努める一方で人件費や売上増に伴う運送費の増加等により、前年同期比1.3%増の27億68百万円となりました。これらの結果、営業利益は19億95百万円(前年同期比19.0%増)、経常利益は19億87百万円(前年同期比17.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億76百万円(前年同期比23.6%増)となりました。

なお、当社グループは、殺虫剤の売上構成比が高いため、売上高は上半期を中心に多く計上されるという季節変動要因をかかえております。一方、人件費や諸経費(広告宣伝費のような政策費を除く)は固定費として、年間を通じてほぼ均等に発生するため、事業年度の四半期毎の売上高や利益には著しい相違があります。

次に、商品部門別の概況についてご報告申し上げます。

(単位：百万円)

	28年3月期 第1四半期累計	29年3月期 第1四半期累計	増減額	増減率 (%)
殺虫剤	10,690	11,881	1,191	11.1%
家庭用品	190	129	△61	△32.1%
園芸用品	1,023	951	△71	△7.0%
防疫剤	460	545	84	18.4%
その他	594	544	△50	△8.5%
合計	12,960	14,052	1,092	8.4%

殺虫剤部門につきましては、国内において2015年を感染症対策元年として位置づけて以来、今までにない高効力を実現した「効きめプレミアムシリーズ」を始めとするワンランク上の製品をお届けしてまいりました。2016年も従来品の5倍の効きめの吊り下げ型虫よけ「虫よけバリアプレミアム」、香りも効きめも約11時間持続する「フマキラー虫よけアロマ線香 ジャンボ」といった「効きめプレミアムシリーズ」の新製品を発売いたしました。また、日本初の新虫よけ成分<イカリジン>を採用したお肌にやさしい虫よけ剤「天使のスキンペーパー」、発生する前に防ぐ新発想の蚊対策商品「フマキラー ボウフラ退治」等の新製品を投入した結果、これらの新製品が売上に寄与し、殺虫剤全体の売上が好調に推移しました。一方、海外におきましては、P.T.FUMAKILLA INDONESIAや、

Fumakilla Malaysia Bhd.を筆頭としたフマキラーアジアグループ等の海外子会社の売上が現地通貨ベース、円貨ベースのいずれも伸長し、国内及び海外の殺虫剤合計の売上高は前年同期比11.1%増の118億81百万円（前年同期比11億91百万円増）となりました。

家庭用品部門につきましては、主力のアルコール除菌剤の売上が競争激化により伸び悩んだことに加え、直前期に販売した花粉関連商品の返品が減収要因となり、家庭用品合計の売上高は前年同期比32.1%減の1億29百万円（前年同期比61百万円減）となりました。

園芸用品部門につきましては、園芸シーズンの最盛期である4月、5月の天候不順の影響から園芸市場全体が落ち込んだこともあり、6ヶ月効果の強力除草剤「オールキラー粒剤」等除草剤の売上が好調に推移しましたが、園芸用品合計の売上高は前年同期比7.0%減の9億51百万円（前年同期比71百万円減）となりました。

防疫剤部門は5億45百万円（前年同期比84百万円増、18.4%増）、その他の部門は5億44百万円（前年同期比50百万円減、8.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産額は、前連結会計年度末に比べ3億6百万円減少し、313億20百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が1億87百万円、受取手形及び売掛金が3億22百万円、短期繰延税金資産が3億70百万円増加した一方で、棚卸資産が8億6百万円、投資有価証券が2億15百万円減少したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比べて10億23百万円減少し、203億57百万円となりました。主な要因は支払手形及び買掛金が2億36百万円、電子記録債務が15億7百万円、未払法人税等が7億19百万円、売上割戻引当金が10億10百万円、返品調整引当金が3億10百万円増加した一方で、短期借入金が45億29百万円、賞与引当金が3億29百万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比べて7億16百万円増加し、109億62百万円となりました。なお、自己資本比率は2.5ポイント増加し、29.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想に関しましては平成28年5月11日の決算発表時点と変更はありません。なお、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,196,933	3,384,119
受取手形及び売掛金	9,454,463	9,776,936
電子記録債権	37,850	122,672
商品及び製品	4,164,456	3,455,767
仕掛品	882,458	788,858
原材料及び貯蔵品	1,542,656	1,538,076
その他	1,744,287	1,922,837
貸倒引当金	△1,177	△1,159
流動資産合計	21,021,928	20,988,107
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,847,940	1,788,235
機械装置及び運搬具(純額)	1,203,731	1,186,523
工具、器具及び備品(純額)	150,498	153,575
土地	696,090	693,822
リース資産(純額)	95,396	86,334
建設仮勘定	138,921	194,952
有形固定資産合計	4,132,578	4,103,443
無形固定資産		
のれん	1,040,129	1,035,934
商標権	956,979	938,572
その他	556,407	550,043
無形固定資産合計	2,553,516	2,524,550
投資その他の資産		
投資有価証券	3,536,974	3,321,698
退職給付に係る資産	47,572	67,752
その他	513,519	467,431
貸倒引当金	△179,320	△152,693
投資その他の資産合計	3,918,745	3,704,188
固定資産合計	10,604,840	10,332,181
資産合計	31,626,769	31,320,289

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,651,135	3,887,289
電子記録債務	1,675,745	3,182,779
短期借入金	8,412,504	3,891,974
1年内返済予定の長期借入金	373,823	365,102
リース債務	37,231	29,872
未払法人税等	257,071	976,208
賞与引当金	470,781	141,141
役員賞与引当金	34,300	—
売上割戻引当金	77,094	1,087,294
返品調整引当金	468,473	779,324
その他	2,599,680	2,838,504
流動負債合計	18,057,843	17,179,493
固定負債		
長期借入金	1,567,374	1,471,353
リース債務	51,213	49,033
退職給付に係る負債	282,660	280,955
役員退職慰労引当金	469,652	459,112
資産除去債務	9,158	9,201
その他	943,388	908,722
固定負債合計	3,323,447	3,178,379
負債合計	21,381,291	20,357,873
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,698,680	3,698,680
資本剰余金	2,105,908	2,105,908
利益剰余金	3,354,975	4,353,796
自己株式	△1,570,329	△1,570,799
株主資本合計	7,589,234	8,587,586
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	830,818	676,538
為替換算調整勘定	34,678	△93,719
退職給付に係る調整累計額	△50,044	△49,673
その他の包括利益累計額合計	815,453	533,145
非支配株主持分	1,840,791	1,841,683
純資産合計	10,245,478	10,962,415
負債純資産合計	31,626,769	31,320,289

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	12,960,287	14,052,900
売上原価	8,289,582	8,977,736
売上総利益	4,670,705	5,075,163
返品調整引当金戻入額	160,098	141,728
返品調整引当金繰入額	422,528	453,016
差引売上総利益	4,408,276	4,763,875
販売費及び一般管理費	2,731,725	2,768,335
営業利益	1,676,550	1,995,540
営業外収益		
受取利息	12,361	8,927
受取配当金	37,617	39,356
その他	35,534	29,442
営業外収益合計	85,513	77,726
営業外費用		
支払利息	21,878	21,698
売上割引	23,874	29,008
為替差損	16,335	26,408
その他	3,127	8,721
営業外費用合計	65,216	85,836
経常利益	1,696,847	1,987,430
特別利益		
固定資産売却益	9,669	597
特別利益合計	9,669	597
特別損失		
固定資産除売却損	846	153
特別損失合計	846	153
税金等調整前四半期純利益	1,705,670	1,987,873
法人税、住民税及び事業税	949,762	938,377
法人税等調整額	△357,309	△333,669
法人税等合計	592,452	604,708
四半期純利益	1,113,217	1,383,165
非支配株主に帰属する四半期純利益	80,547	106,290
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,032,669	1,276,874

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	1,113,217	1,383,165
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	359,536	△154,279
為替換算調整勘定	△370,180	△163,127
退職給付に係る調整額	8,644	1,167
その他の包括利益合計	△1,998	△316,239
四半期包括利益	1,111,218	1,066,925
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,101,213	994,567
非支配株主に係る四半期包括利益	10,005	72,357

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	日本	東南アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,247,005	3,577,519	12,824,524	135,762	12,960,287
セグメント間の内部売上高又は振替高	383,698	458,710	842,409	—	842,409
計	9,630,704	4,036,230	13,666,934	135,762	13,802,697
セグメント利益	1,186,789	436,764	1,623,554	8,932	1,632,486

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、メキシコの現地法人の事業活動を含んでいます。

(2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,623,554
「その他」の区分の利益	8,932
セグメント間取引消去	44,063
四半期連結損益計算書の営業利益	1,676,550

(3) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	日本	東南アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,920,104	3,992,363	13,912,467	140,432	14,052,900
セグメント間の内部売上高又は振替高	422,162	666,463	1,088,626	—	1,088,626
計	10,342,267	4,658,827	15,001,094	140,432	15,141,527
セグメント利益	1,368,093	559,053	1,927,146	10,748	1,937,895

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、メキシコの現地法人の事業活動を含んでいます。

(2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,927,146
「その他」の区分の利益	10,748
セグメント間取引消去	57,644
四半期連結損益計算書の営業利益	1,995,540

(3) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 販売実績

販売実績

(単位：千円)

事業区分	前第1四半期連結累計期間 自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日	
	金額	構成比 (%)
殺虫剤	10,690,326	82.5
家庭用品	190,888	1.4
園芸用品	1,023,880	7.9
防疫剤	460,829	3.6
その他	594,362	4.6
合計	12,960,287	100.0

(単位：千円)

事業区分	当第1四半期連結累計期間 自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日	
	金額	構成比 (%)
殺虫剤	11,881,772	84.6
家庭用品	129,573	0.9
園芸用品	951,969	6.8
防疫剤	545,559	3.9
その他	544,025	3.8
合計	14,052,900	100.0

(単位：千円)

事業区分	前連結会計年度 自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日	
	金額	構成比 (%)
殺虫剤	27,691,889	76.3
家庭用品	1,885,838	5.2
園芸用品	2,394,483	6.6
防疫剤	1,536,782	4.2
その他	2,779,371	7.7
合計	36,288,365	100.0

(注) 金額は純売上高(消費税等抜き)によっております。

(2) 海外売上高

前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高 (千円)	3,648,539	360,197	4,008,736
II 連結売上高 (千円)	—	—	12,960,287
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)	28.1	2.8	30.9

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア : マレーシア、インドネシア、インド、ベトナム、ミャンマー

(2) その他の地域 : メキシコ、イタリア

3. 海外売上高は、親会社及び本国に所在する連結子会社の輸出高並びに、本国以外の国に所在する連結子会社の売上高の合計額 (ただし、連結会社間の内部売上高を除く) であります。

当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高 (千円)	4,058,623	456,670	4,515,293
II 連結売上高 (千円)	—	—	14,052,900
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)	28.9	3.2	32.1

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア : マレーシア、インドネシア、インド、ベトナム、ミャンマー

(2) その他の地域 : メキシコ、イタリア

3. 海外売上高は、親会社及び本国に所在する連結子会社の輸出高並びに、本国以外の国に所在する連結子会社の売上高の合計額 (ただし、連結会社間の内部売上高を除く) であります。